

# 令和4年度自己評価

幼保連携型認定こども園  
はとり保育園

## 本園の目指す保育・教育

- 明るく元気な子ども (健康でがんばれる子ども)
- 正しく美しい心の子どもの (礼儀正しい子・約束を守れる子)
- 仲良くおおらかな子ども (思いやりがありよく考え工夫する子)

## 本年度重点的な目標

コロナ禍の苦難の時代を、感染防止の徹底の中、子どもの人権を尊重した保育・教育の充実をめざし職員が一丸となって取り組む。

## 評価項目別の達成および課題状況

綱 目	評 価 課 題
本園の保育・教育目標の認識度	認識度は職員・保護者とも高く、職員会議や保護者会等でさらに啓発していく。
乳児・幼児・延長保育教諭間の連携	健康や怪我等の報告・連絡・相談・確認の徹底を努力する。
各職種間の連携	他業種の職員との連携は円滑であるが、運営面での改善を図った。
保育・教育内容	「子どもの人権の尊重」を重点に子どもに接し、保護者の評価も99%を示しさらなる充実した研修を積み、実践する。
研修	園内研修は、定期的実施されたが、園外研修はコロナ禍のためウェブ研修が多かった。特にヒヤリハットの研修に重きをおいた。
安全への取組	感染防止のため、洗浄液・体温計・空気清浄機等の充実に努めた。未満児の遊具の使用方や点検箇所の確認を行った。また、潜在的危険箇所の修理改善に取り組んだ。

## 令和4年度自己評価

特別支援教育（共生教育）	できる限り支援者を付け対応はしているが、さらに知識や技能の研修を積みませ、他の関連機関との連携を図りながら、実践を図る。
保護者との連携	本年度は、コロナ禍のため小美玉市等のイベントがなく、本園の行事も保護者参加の縮小化を行った。
地域子育て支援	子育て支援センターを拠点として、コロナ禍の中、規模を縮小し工夫して実施した。
保幼小連携	就学前に定時期に連絡を取り、定期的に小学校より教諭が見学、意見交換をしている。
取り組むべき具体的な課題	チームワークの充実とヒヤリハットの研修の充実により、さらに子どもの安全を守ることが課題である。
総評	コロナ禍の中、行事等の精選と実践の工夫を職員全体で理解し真摯に取り組んだ。

### 〈外部（保護者）による評価〉

本園の目指す保育・教育については、高い評価を頂いているし、保護者との関係も良好である。園の運営について研修を重ねながら、認定こども園としての課題をさらに認識し、解決する。

### 〈財務状況〉

監査を受け妥当であると認められた。